

2008年3月

ルイシア コテイレドン

Lewisia

(*Lewisia cotyledon* (S.Watson)B.L.Robinson)

ルイシア コティレドン審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、スベリヒユ科 (*Portulacaceae*) ルイシア属 (*Lewisia Pursh.*) の、コティレドン種(*Lewisia cotyledon* (S.Watson)B.L.Robinson)の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子、株分け発根苗
- ii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1000 粒
栄養繁殖性品種の場合 40 個体

提出する種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 特性調査時に、種子繁殖性品種は 50 個体、栄養繁殖性品種は 20 個体を下回らないこと。
- iii) 栽培期間 2 生育周期
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種にあつては、植物体 20 個体又は採取した部分 20 個について、栄養繁殖性品種の場合は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 特に指示がない限り、開花期に行う。開花期とは、第 1 花茎の第 1 花がしおれ始めた時期とする。
葉の形質については、根出葉について調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (D. U. S.) 審査のための一般基準に基づくものとする。

供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 葉の形 Radical leaf: shape (形質 6 Char.6)
- ii) 葉の斑の有無 Radical leaf: presence of variegation (形質 12 Char.12)

iii) 花卉の主な色 Petal: main color f upper side (形質 28 Char.28)

以下の区分による。

Gr.1 : 白

Gr.2 : 黄

Gr.3 : 橙

Gr.4 : 桃

Gr.5 : 赤

Gr.6 : 紫

iv) 花卉の条斑の有無 Petal: presence of the stripes of upper side (形質 29 Char.29)

v) 花卉の複色の有無 (条斑を除く) Petal: presence of secondary color of upper side
(excluding stripes) (形質 31 Char.31)

VI. 特性表で使用する記号の説明

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

G : グループ分けに使用する形質

(+) : 特性表の説明を参照

VII. 特性表(Table of characteristic)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN	花茎の数	Plant: number of scapes	株を真上から観察して視認できる花茎の数	測定本	3 5 7	少 中 多	few medium many		5本 15本 25本
2		QN(+)	葉部の高さ	Foliage: height	地際部から葉部最頂部までの高さ	測定cm	3 5 7	低 中 高	short medium tall		3 cm 6 cm 9 cm
3		QN(+)	葉部の幅	Foliage: width	葉部の最大幅	測定cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		8 cm 14 cm 20 cm
4		QN(+)	葉の長さ	Radical leaf: length	根出葉の長さ(第1花茎直下の葉で判定。以下同様とする)	測定cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		3 cm 6 cm 9 cm
5		QN(+)	葉の幅	Radical leaf: width	根出葉の最大幅	測定cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		1 cm 2 cm 3 cm
6		PQ(+) G	葉の形	Radical leaf: shape	根出葉全体の形	観察	1 2 3	倒披針形 倒卵形 へら形	oblanceolate obovate spatulate		
7		PQ(+)	葉の先端部の形	Radical leaf: shape of apex	根出葉の先端部の形	観察	1 2 3 4	鋭形 鈍形 円形 凹形	acute obtuse rounded emarginate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8		PQ (+)	葉の縦断面の形	Radical leaf: shape of longitudinal section	根出葉全体の縦断面の形	観察	1 2 3	内曲 平 外曲	incurved flat recurved		
9		PQ (+)	葉の横断面の形	Radical leaf: shape of cross section	根出葉の最大幅付近の横断面の形	観察	1 2	内曲 平	concave flat		
10		QN	葉の緑色の濃淡	Radical leaf: intensity of green color	根出葉の表面の緑色の濃淡(株全体の葉で判定。以下同様とする)	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
11		QL	葉のアントシアニン着色の有無	Radical leaf: presence of anthocyanin coloration	根出葉のアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
12		QL G	葉の斑の有無	Radical leaf: presence of variegation	根出葉表面の斑の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
13		QL (+)	葉の周縁部の鋸歯の有無	Radical leaf: presence of serration of margin	根出葉周縁部の鋸歯の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
14		QN (+)	葉の周縁部の波打ちの強弱	Radical leaf: degree of undulation of margin	根出葉周縁部の波打ちの強弱	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15		QN (+)	花茎の向き	Scape: attitude	花茎が水平面となす角度により判定	観察	1 2 3	直立 斜上 水平	erect semi-erect horizontal		
16		QN (+)	花茎基部から頂 花着生部までの 長さ	Scape: length from the lowest point of peduncle to the point below the terminal flower	第1花茎の基部から頂花 (第1花)の花首直下までの 長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		5 cm 15 cm 25 cm
17		QN	花数	Scape: number of flowers	第1花茎の花の数(花弁色 があらわれているつぼみ を含む)	測定 個	3 5 7	少 中 多	few medium many		5 個 15 個 25 個
18		QL	花茎のアントシ アニン着色の有 無	Scape: presence of anthocyanin coloration	花茎のアントシアニン着 色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
19		QN	花茎のアントシ アニン着色の強 弱	Scape: intensity of anthocyanin coloration	花茎のアントシアニン着 色の強弱	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
20		QN (+)	花茎の最長一次 分枝の長さ	Scape: length of the longest primary lateral branch	第1花茎の最長1次分枝の 基部から分枝の1番花の 花首直下までの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		2 cm 4 cm 6 cm
21		QL	花型	Flower: type	花の一重・八重の別	観察	1 2	一重 八重	single double		
22		QN	花の直径	Flower: diameter	第1花茎の1次分枝の花の 直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large		2 cm 3 cm 4 cm

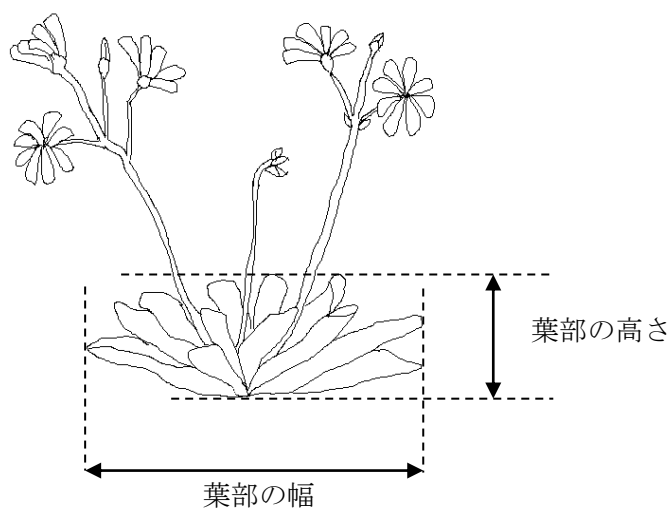
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23		PQ (+)	花の上面の外形	Flower: top view	上から見た花の輪郭の形	観察	1 2 3	I型 II型 III型	type I type II type III		
24		QL	花の香りの有無	Flower: fragrance	花の香りの有無	観察	1 9	無 有	absent present		
25		QN (+)	花卉の長さ	Petal: length	第1花茎の1次分枝の花の 花卉の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		1 cm 2 cm 3 cm
26		QN (+)	花卉の幅	Petal: width	第1花茎の1次分枝の花の 花卉の最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		3 mm 6 mm 9 mm
27		PQ (+)	花卉の形	Petal: shape	花卉全体の形	観察	1 2 3	倒披針形 倒卵形 へら形	oblanceolate obovate spathulate		
28		PQ G	花卉の主な色	Petal: main color of upper side	花卉表面の主な色	観察		RHS カラーチャート 番号	RHS color chart (indicate reference number)		
29		QL (+) G	花卉の条斑の有 無	Petal: presence of stripes of upper side	花卉表面の脈部の着色の 有無	観察	1 9	無 有	absent present		
30		PQ	花卉の条斑の色	Petal: color of stripes of upper side	花卉表面の条の色	測定		RHS カラーチャート 番号	RHS color chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31		QL G	花卉の複色の有 無 (条斑を除く)	Petal: presence of secondary color of upper side (excluding stripes)	花卉表面の複色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
32		QL (+)	花卉の複色の分 布 (条斑を除く)	Petal: distribution of secondary color of upper side (excluding stripes)	花卉表面の複色の分布位 置	観察	1 2 3 4 5 6	周縁基部 中央基部 先端部 周縁基部と中央基 部 周縁基部と先端部 中央基部と先端部	at marginal base at central base at apex at marginal base and central base at marginal base and apex at central base and apex		
33		PQ	花卉の先端部の 複色	Petal: secondary color at apex of upper side	花卉表面の先端部の複色	観察		RHS カラーチャ ート番号	RHS color chart (indicate reference number)		
34		PQ	花卉の周縁基部 の複色	Petal: secondary color at marginal base of upper side	花卉表面の周縁基部の複 色	観察		RHS カラーチャ ート番号	RHS color chart (indicate reference number)		
35		PQ	花卉の中央基部 の複色	Petal: secondary color at central base of upper side	花卉表面の中央基部の複 色	観察		RHS カラーチャ ート番号	RHS color chart (indicate reference number)		
36		QN	開花始期の早晩	Time of beginning of flowering	全体の 50%以上の株の第 1 花が開花した時期の早 晩	測定	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

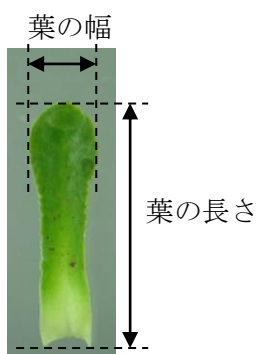
形質 2 葉部の高さ Char.2 Foliage: height

形質 3 葉部の幅 Char.3 Foliage: width



形質 4 葉の長さ Char.4 Radical leaf: length

形質 5 葉の幅 Char.5 Radical leaf: width



形質 6 葉の形 Char.6 Radical leaf: shape



1
倒披針形
oblanceolate



2
倒卵形
obovate



3
へら形
spatulate

形質 7 葉の先端部の形 Char.7 Radical leaf: shape of apex



1
鋭形
acute



2
鈍形
obtuse



3
円形
rounded

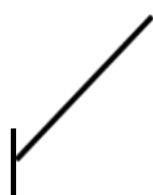


4
凹形
emarginate

形質 8 葉の縦断面の形 Char.8 Radical leaf: shape of longitudinal section



1
内曲
incurved



2
平
flat



3
外曲
recurved

形質 9 葉の横断面の形 Char.9 Radical leaf: shape of cross section



1
内曲
concave



2
平
flat

形質 13 葉の周縁部の鋸歯の有無 Char.13 Radical leaf: presence of serration of margin

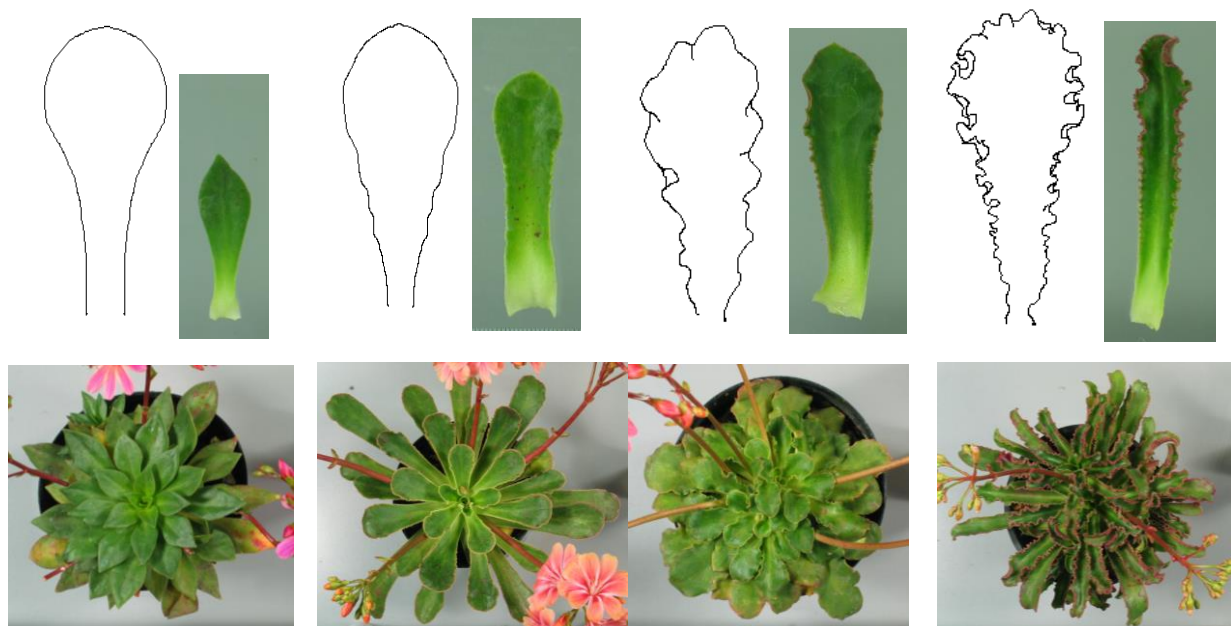


1
無
absent



9
有
present

形質 14 葉の周縁部の波打ちの強弱 Char.14 Radical leaf: degree of undulation of margin



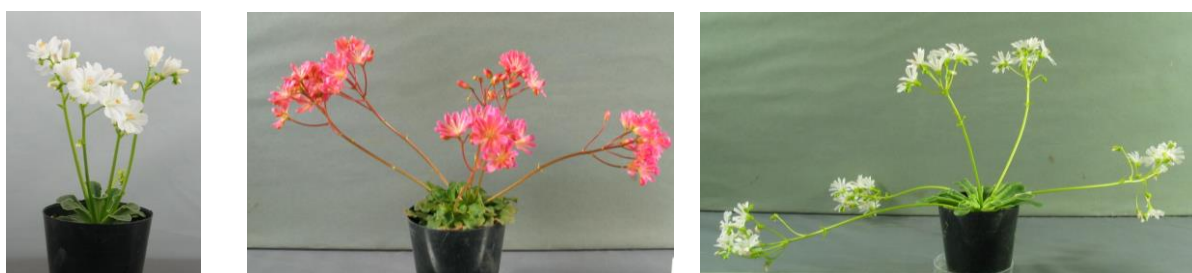
1
無又は微弱
absent or very weak

3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

形質 15 花茎の向き Char.15 Scape: attitude



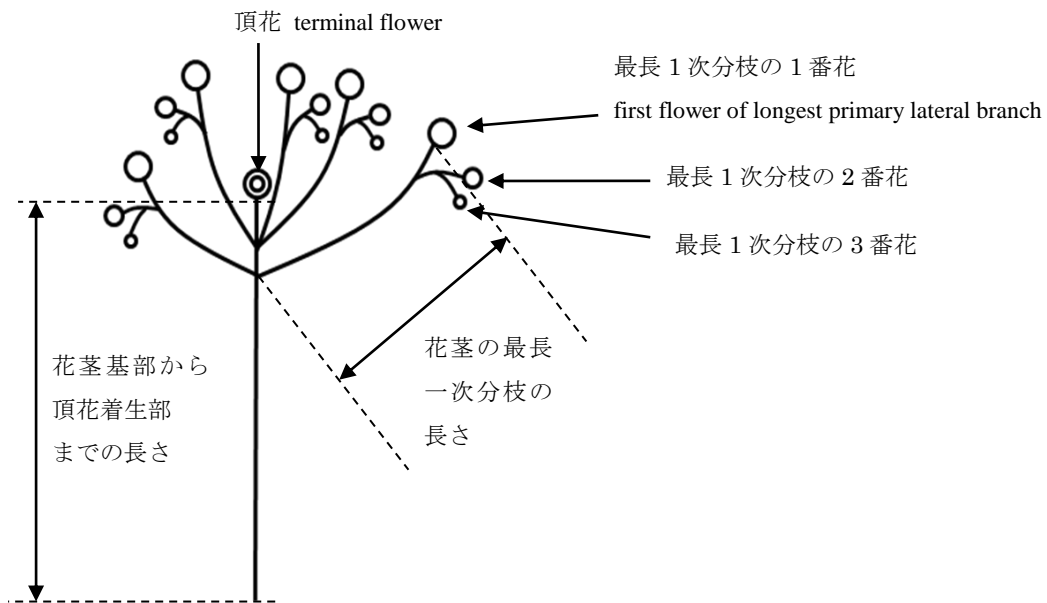
1
直立
erect

2
斜上
semi-erect

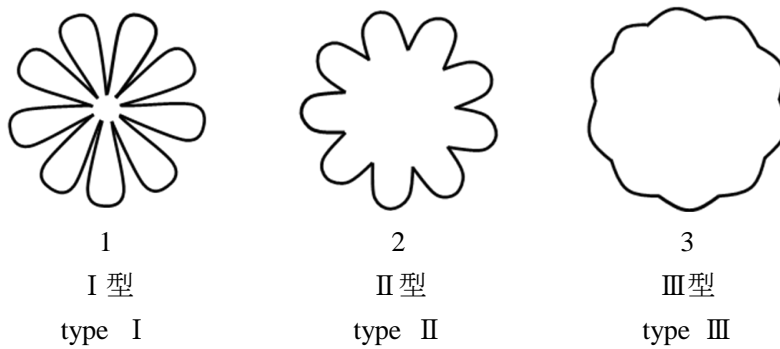
3
水平
horizontal

形質 16 花茎基部から頂花着生部までの長さ Char.16 Scape: length from the lowest point of peduncle to the point below the terminal flower

形質 20 花茎の最長一次分枝の長さ Char.20 Scape: length of the longest primary lateral branch

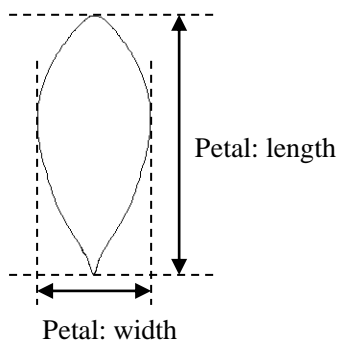


形質 23 花の上面の外形 Char.23 Flower: top view



形質 25 花弁の長さ Char.25 Petal: length

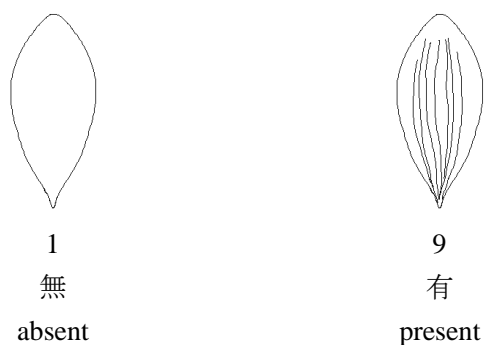
形質 26 花弁の幅 Char.26 Petal: width



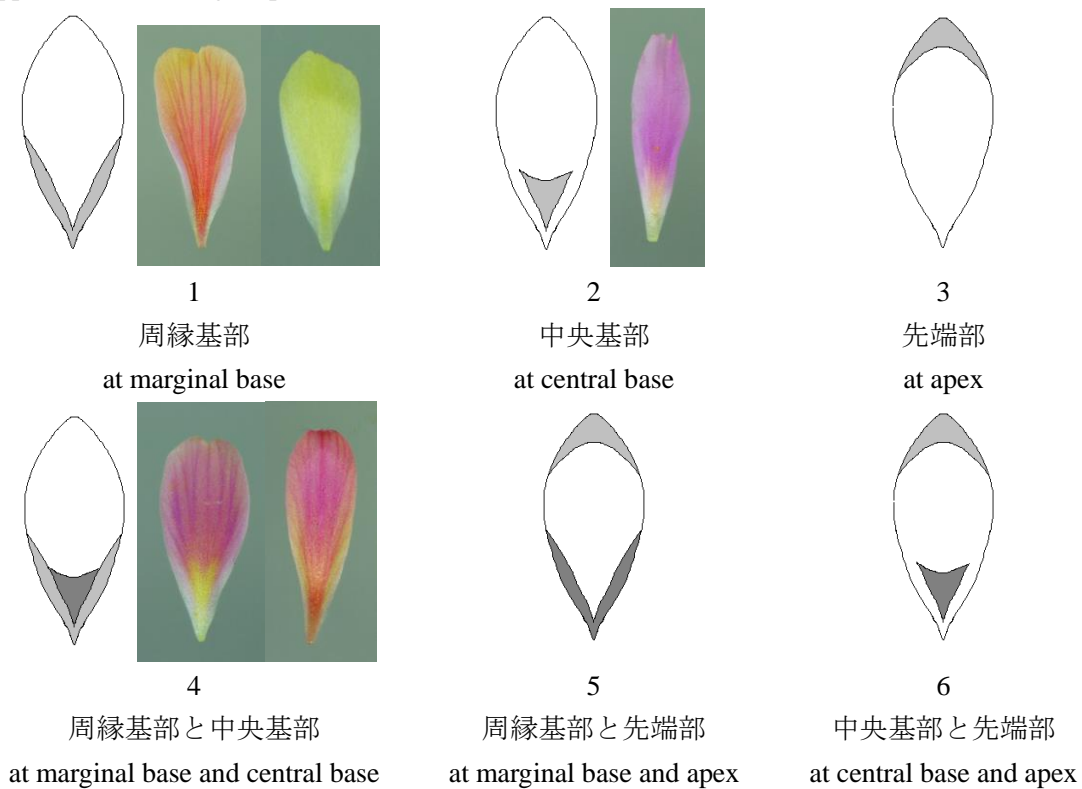
形質 27 花弁の形 Char.27 Petal: shape



形質 29 花弁の条斑の有無 Char.29 Petal: presence of the stripes of upper side



形質 32 花弁の複色の分布 (条斑を除く) Char.32 Petal: distribution of secondary color of upper side (excluding stripes)



1. 新規植物特性調査の概要

(1) 現地調査

調査年月日 平成 19 年 2 月 19 日
調査実施場所 埼玉県鴻巣市寺谷 307 番地
出願者所有の温室
調査者 高林 成年 元京都府立植物園園長
内田 正行 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 首席品種特性審査役
石野 真理子 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 調査員
調査対象 出願者所有の *L.cotyledon* の系統

調査年月日 平成 19 年 2 月 27～28 日
調査実施場所 茨城県つくば市藤本 2-2
独立行政法人種苗管理センターの温室
調査者 高林 成年 元京都府立植物園園長
内田 正行 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 首席品種特性審査役
山本 茂 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 品種特性審査役
荒関 淳 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 調査員
石野 真理子 独立行政法人 種苗管理センター業務調整部
栽培試験課 調査員
調査対象 出願者より提供を受けた *L.cotyledon* の 28 系統

(2) 植物としての特性 (文献より)

① *Lewisia* 属の概要

北西アメリカ原産で、ロッキー山脈沿いにメキシコからカナダまで、約 20 種が分布している。自生地は比較的標高の高い砂漠から積雪のある針葉樹林まで。多肉質の葉を持ち、茎はごく短くロゼット状の草姿となる種が多い。ロゼット葉の中心から花茎を出し、花をつける。開花期は春から夏である。開花中から開花後に落葉する落葉性種と常緑性種がある。太い直根を持つ。

② *L.cotyledon* (S.Wats.)B.L.Robinson 種について

常緑宿根草。多肉質の葉を持ち、葉は扁平でよくしまったロゼット状になる。葉は基部に向かって幅が狭くなり、へら形、倒披針形、倒卵形である。葉色は淡緑から濃緑で、赤味を帯びる場合がある。また、わずかに白粉で覆われている。葉縁の鋸歯があるものかないものがある。花序は複散房花序で、数本の花茎を出す。花茎には径 2～4 cm の花を多数つける。花は開いたロート

形で、離弁花である。花弁の形はへら形、倒披針形、倒卵形などである。花色、花弁の模様は変化に富んでおり、花弁の脈に沿って条が入るものが多い。開花期は5～6月。

(3) 特性検定のための栽培試験方法

1) 栽培の例（農業技術体系より）

(ア) 栽培条件

加温雨よけ施設鉢植え栽培。

(イ) 栽培方法

① は種

3～4月にハウス内で箱まきする。比較的低温で発芽する。発芽までに15～20日間を要する。

② 移植

発芽後約30～40日、本葉4～6枚の苗を育苗箱に移植し、本葉が8～11枚程度で9cmポットに鉢上げする。鉢上げ用土は水はけのよいものを使用する。基肥を少量施用する。

③ 夏越し

夏期は高温を押さえるため、寒冷紗で被覆する。多湿にすると株が腐敗するので、灌水は控えめにする。

④ 冬越し

冬期は最低温度7℃程度を保ち、日光によく当てる。開花は3～6月である。

2. 参考文献等

塚本洋太郎監修. 1994. 園芸植物大辞典：1256,3047-3048. 小学館

英国王立園芸協会監修. 2003. A-Z 園芸植物百科事典：607-608. 誠文堂新光社

Anthony Huxley 他. 1997. The New Royal Horticultural Society Dictionary of Gardening 3：61-62. Mcmillin Pub Llc

William Warren 他. 1998. Botanica：523-524. Random House Australia Pty Ltd

2005. 農業技術体系花卉編 追録第7号. 9：741. 社団法人農産漁業文化協会